



// 地元のよさ、再発見 //

大田原通信

大田原に住んでいて「当たり前」なことが移住者にとっては「魅力」に感じられることも。この通信では、毎月1回大田原の隠れた魅力をお伝えします。

大田原市移住・定住交流サロン通信



interviewee ▶

星を見る時間を、もっと身近に

街なか星空観望会 星空案内人

さとう としあき

佐藤 敏明 さん



【写真】望遠鏡を調整しながら、星の見え方を確認する佐藤さん

大田原市役所でまちづくりに携わっていた佐藤さん。2017年からは「まちなか学校（市の活性化事業）」の星空観望会で、解説を務めてきました。事業終了後も「皆さんに気軽に星を見てもらいたい」と、個人活動として観望会を継続。ボランティア活動等も通じ、市内外の方に星空や宇宙の魅力を伝えています。

「見てほしい」がつないだ、街なか星空観望会

事業終了の年に訪れた、約400年ぶりの“木星と土星の超大接近”。「望遠鏡でも見られる珍しい天体ショーで、これまで来てくれた方にもぜひ見てほしい」と、個人で活動を引き継いだ佐藤さん。最接近日を含め1週間連続で観望会を開き、星の軌跡を追ったといいます。現在も中央多目的公園を会場に、不定期で観望会を開催。月や季節の天体など“その日の星空”を案内しています。

こどもの頃から星や宇宙に親しみ、20代から県内外の天文施設でボランティア活動を重ねてきた経験が、解説の土台に。活動に役立てばと「星空案内人」の資格も取得しました。「まずは自分の目で見て、宇宙のスケール感を感じてほしい」。その思いを原点に、活動しています。

上：皆既月食観望会の様子（2022年11月8日開催）

寒空の下、多くの参加者が集まった。双眼鏡や望遠鏡を譲り合い、天体ショーを楽しまれたそうです。



下：こどもから大人まで、好きな時間に立ち寄れるまちなか学校の頃から継続参加される方は「毎回楽しみにしてて、本当にありがたいんだよ～」と話す。



スマホで天体撮影する佐藤さん

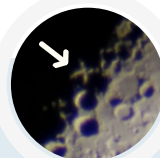
自分の目で見た星を“記録として家に持ち帰る”体験！



レモン彗星

星空案内人
おすすめ

左：望遠鏡で見た月



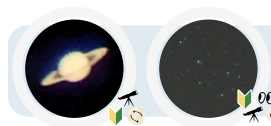
右：拡大した月面X

目で見ても、望遠鏡で拡大してもいい。満ち欠けや、季節ごとで変わる見え方も魅力。光の当たり具合で、月面X等、細かい地形が見えて面白いです。（佐藤さん）

街なかで空を見上げる “ちょっと特別な時間”

観望会は天気に左右されるのが難しいところ。雲の切れ間を願って、開催の判断はギリギリまで粘ります。風が強い日は、安全を考え晴天でも中止に。駐車場の混雑を避けて平日の夜に開催するのも、気軽に来てもらう工夫です。

「天文施設に行けなくても、街なかで星を見られる。“皆さんに見てもらうこと”が、私の天文活動です」。望遠鏡をのぞけば、いつもの空が少し特別に見えてくる。その体験が、次に空を見上げる楽しみへとつながっています。



◀ 撮影天体の例

左：土星

右：M45（すばる）



夜だけじゃない。昼から始まる天文館

大田原と星の関係
天文館の思いも、
一緒にご紹介！

ふれあいの丘一帯が、過去4度「日本で一番きれいな星空が見える場所」に選ばれたことで設立した天文館。昼は太陽、夜は季節の星空を、ほぼ毎日楽しめる観望施設です。

来館者の案内やイベント運営のほか、天候に応じて「今日は何を見てもらおうか」と内容を組み直すのも大切な仕事。「楽しかった」「また来ます」の声が、何よりの励みです。「晴れ空で時間があれば、手ぶらで来て大丈夫。『見たい星』に望遠鏡を向けられるので、どんどん教えてくださいね」。

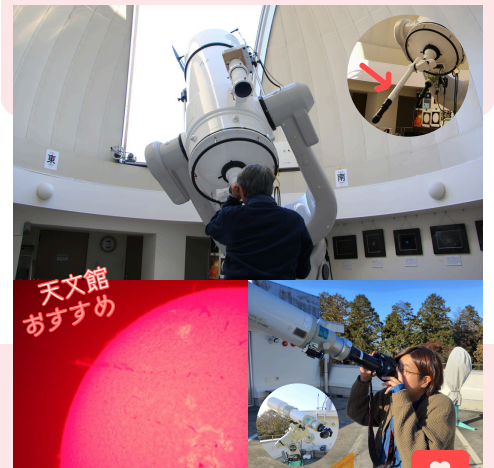
街角観望会や学校への出張観望など、天文館の外に出る活動も増え、市内の星空に興味を持つ人の輪も広がっています。ボランティアと力を合わせ、初めての人も宇宙好きも楽しめる“誰もが気軽に来られる天文館”を目指しています。

「アルビレオ（昼間の観望は難しいですが、晴天時は見られるかも）」
宮沢賢治の『銀河鉄道の夜』に登場する、天の川に浮かぶ二重星。その輝きに魅了されます。



65cm反射望遠鏡（ドーム内・昼間）

昼間でも望遠鏡をのぞけば、明るい星を観察できる。
自由に動くアーム(→)で、自分の目線で楽しめます！



左：太陽の表面写真

右：太陽望遠鏡

黒点の位置や大きさ、燃立つプロミネンスなど、
毎日姿が変化します。活動期の今は見所が満載！
「続けて見るほど面白い天体」N91です！（天文館）

▶現在の太陽を「宇宙天気予報」で検索！

左：スーパームーンを望遠鏡で観望（観望会）

「月が大きくて、きれいに見える！」と喜び参加者。



右：ふたご座流星群観望会（天文館）

佐藤さんもボランティアで参加。参加者はレジャーシートに寝転がる等、思い思いに空を眺めた。

気軽に、星に会いに行こう

観望会も天文館も、星を身近に感じられる入り口です。ふらっと立ち寄り、空を見上げて「きれいだな」「不思議だな」と感じてもらえれば十分。写真や映像では味わえない、望遠鏡をのぞく“実感を伴った体験”ができます。質問も大歓迎なので、気軽に声を掛けてください。特別な日もそうでない日も、行き先の選択肢のひとつにしてもらえたら嬉しいです。

見つけやすい 肉眼で見える
何度も見たい 望遠鏡で見る

星空案内人×天文館が選ぶ『これからの天体ガイド』

今季は気になる天文現象が目白押し！

街なか星空観望会・天文館で、今だけの体験を！

次観るならこれ！



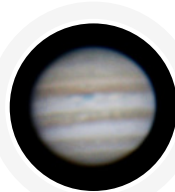
取材した方に聞きました
「あなたの好きな大田原」

那須～塩原にかけての山並み
ライスライン(親園)回りからの眺望



「皆既月食」

観望日：令和8年3月3日(火)
場所：中央多目的公園
時間：SNSで告知します。
(下記二次元コード)
見所：皆既時間が長く、好条件で観測できます。ぜひ手ぶらで見に来てください。(佐藤さん)



「木星」

見頃：1月～5月
太陽系で1番大きな惑星です。

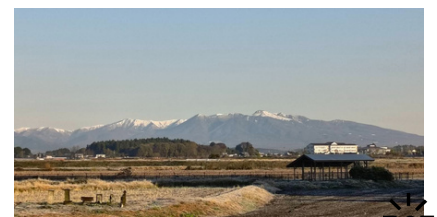
「オリオン大星雲」

見頃：1月～4月
沢山の星が生まれる
最中で見応え十分！



※詳細は『街なか星空観望会』のSNSでご確認ください。
※天候不良の際、中止する場合があります。

※天文館では、昼間は、随時案内しています。
※夜間は、電話予約するとスムーズです。(予約なしも◎)



特に冬のすごく晴れた日、山にちょっと雪が被ってる様が◎。通勤ルートでした。

佐藤さんから
メッセージ

2035年9月は、大田原市内で皆既日食が見られます。
その時は、大田原を思い出して集まってください。

お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-3-1 大田原市役所A別館2階

Tel：0287-23-8794 (平日/9:00～17:00)

Mail：salon@ohtawara-ijyu.jp



星空案内

天文館と冬の大三角

街なか星空観望会
大田原市中央2-2360-2
(中央多目的公園・広場)
なし
18:00～20:00 (変動あり)
不定期 (開催日時は二次元コードより)



ふれあいの丘 天文館
大田原市福原1411-22
(ふれあいの丘・敷地内)
0287-28-3254
13:30～21:00 (最終入館：20:30)
休館：月曜、祝日の翌日、年末年始



ホームページ



Facebook



Instagram

大田原の暮らし、地域情報など発信中！
担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課